

静岡県の 学校図書館

静岡県総合教育センター 主催研修・事業案内

県総合教育センターでは、例年学校図書館の活用を推進するための研修を実施しています。今年度行う研修は以下のとおりです。

また当センターの事業「学校等支援研修」では、主体的な学びを支える学校図書館づくりのための支援を行っています。配架の方法や読書支援の方法など、学校図書館運営に関する支援を

研修 案内①

『情報リテラシーと学校図書館』

対象：教職員（中・高・特・私学・事務局）※特・私学は小学校、小学部を除く

新学習指導要領において、学校図書館には、児童・生徒の情報の収集・選択・活用能力を育成する「情報センター」としての機能が求められています。

本研修は、情報リテラシーを育てる授業づくりに学校図書館を活用する意義・方法について、講義や演習を通じて実際の指導の手がかりを得ることを目的として行います。

講師は、教育方法や情報リテラシー教育を専門とする、帝京大学の鎌田和宏教授です。

ぜひご受講ください。



演題：「情報リテラシーを育てる授業づくり」

講師：帝京大学教育学部教授 鎌田和宏氏

講師略歴：東京都公立学校教諭などを経て現職

開催日：令和3年5月14日（金）

会場：静岡県総合教育センター

申込方法：研修ガイドブック19pをご覧ください。

締切：令和3年4月21日（水）

問い合わせ先：0537-24-9715

令和3年4月発行

発行：静岡県総合教育センター

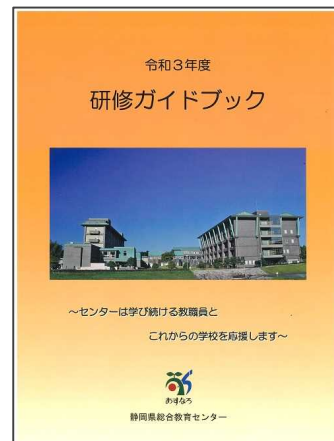
企画・ICT推進課生涯学習推進班

電話：0537-24-9715

メール：sogokyouiku-kikakuict@pref.shizuoka.lg.jp

依頼したい場合はご連絡ください。

連絡先及び申込方法等の詳細は、「研修ガイドブック」又は県総合教育センターのホームページに掲載しています。



研修 案内②

『学校図書館活用研修』

対象：教職員（小・中・高・特・私学・事務局）

新学習指導要領において、学校図書館には、児童・生徒の自主的・自発的かつ協働的な学習活動を支援する等、「学習センター」としての機能が求められています。

本研修では、学校図書館の活用が児童及び生徒の自主的・主体的な学習活動につながることへの理解を深めることを目的とし、講義と演習を行います。講師は、『「学校図書館ガイドライン」活用ハンドブック』などの著作を持つ、堀川照代氏です。

また併せて、著作権に関する講義を行います。令和2年度から「授業目的公衆送信補償金制度」が始まり、学校教育や学校図書館運営において、今後ますます著作権に関する知識が必要となっています。著作権の基本的な考え方、最新の情報を聞くことができます。ぜひご受講ください。

演題1：「教科横断的な力を育む学校図書館活用」

講師1：放送大学客員教授 堀川照代氏

演題2：「教育活動・学校図書館と著作権」

講師2：静岡県立中央図書館職員

開催日：令和3年7月7日（水）

会場：静岡県総合教育センター

申込方法：研修ガイドブック19pをご覧ください。

問い合わせ先：0537-24-9715

講座 案内

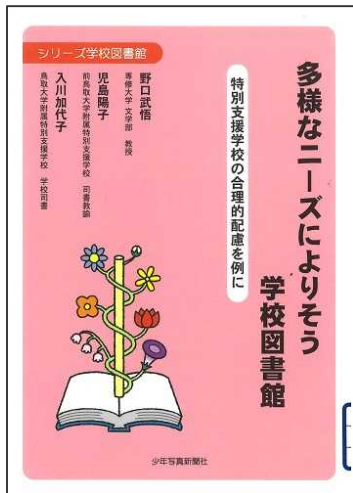
『令和3年度 みんなでつくろう学校図書館講座』 対象：教職員、学校司書、学校図書館ボランティアなど

令和元年6月に「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律(読書バリアフリー法)」が制定され、同月28日に施行されました。この法律は、視覚障害によって読書が困難な人たち(発達障害、肢体不自由などにより視覚による表現の認識が困難な者も含む)への読書環境整備推進について定められたもので、その第9条によると学校図書館も対象とされています。

本講座ではこの読書バリアフリー法について、講師から詳しくお話を聞くと共に、学校図書館での取り組み事例などを紹介していただきます。

講師は、『多様なニーズによりそう学校図書館』など多数の著作を持つ、野口武悟教授です。

学校図書館に関係する皆さまの参加をお待ちしています。



演題：「学校図書館における基礎的環境整備と合理的配慮」

講師：専修大学文学部教授 野口武悟氏

開催日：令和3年9月7日(火)

会場：静岡県総合教育センター

問い合わせ先：0537-24-9715

あすなる図書室案内

あすなる 図書室から

県総合教育センターあすなる図書室は、教育関係図書や教育雑誌、大学や他県の教育資料など、教育に関する資料を提供する、教育専門図書室です。また、古い教科書を所蔵しており、小学校は昭和36年度、中学校は昭和37年度、高等学校は昭和31年度から収集しています。開館中であれば自由に見ることができますので、ぜひご活用ください。

学校 図書館 情報

令和2年度児童サービス研究 交流会「ウィズコロナ時代の 児童サービス」 主催：国際子ども図書館

国際子ども図書館では、例年児童サービス関係者が特定のテーマについて最新の情報や動向を学び、事例紹介や意見交換などを行う場として、児童サービス研究交流会を開催しています。

本年度はオンライン配信形式で開催しており、現在、コロナ禍における児童サービスについての講演と、事例報告の配信を行っています。

そのうち、特に学校図書館に関する講演・報告は次のとおりです。その他の講演、報告と併せてぜひご覧ください。

講演：「ウィズコロナの経験を活かす—これからの学校図書館について考えるために」

講師：青山学院大学准教授 庭井史絵氏

事例報告：「逆境をチャンスに—公立小学校図書館でも出来ること」

講師：杉並区立小学校司書 横山寿美代氏

【申込方法】

次の二次元バーコードにアクセスし、内容をご確認の上、お申込みください。



【配信期間】令和3年4月30日(金) 17時まで

【参加費】無料

【問い合わせ先】

国際子ども図書館 企画協力課 協力係

メールアドレス：kenshu@kodomo.go.jp

電話：03-3827-2053



教育資料案内

また、県内学校の記念誌や研究論文など、教育に関する資料を新旧問わず、網羅的に収集しています。各学校で作成した資料、廃棄する資料等ございましたらご連絡ください。